

英国で

多文化共生政策を

学ぶ



国会議事堂とビッグ・ベン

## 英国多文化コミュニティ政策交流プログラム のご案内

令和5年

7月3日（月）

～7月8日（土）

の計6日間

イギリス（ロンドン他）

令和5年7月に、英国の多文化共生政策に基づく地方行政・地域づくりを学ぶ「英国文化コミュニティ政策交流プログラム」を初開催します。

歴史的に数多くの移民を受け入れてきた英国の行政やNPO等の関連する取組みを学び、在留外国人が急増する日本における多文化共生施策に生かすことを目的としたプログラムです。

ぜひ、ご参加ください！



英国政府設立のオックスフォード大学付属  
研究センター「COMPAS」の視察の様子



自治体国際化協会

問い合わせ先

(一財)自治体国際化協会 多文化共生部多文化共生課

TEL：03-5213-1725 FAX：03-5213-1742

E-mail：tabunka@clair.or.jp

HP：https://www.clair.or.jp

# ～プログラム概要～

## 内容

- ・ 先進的な施策を実施する英国の現地機関や団体等を訪問し、英国における多文化共生に基づく取組みに関する知識を深める。
- ・ 現地訪問で得た知見を基に、参加者の所属する団体における多文化共生政策等について、参加者で意見交換を行う。



英国初の宗教に焦点を当てた全国規模のNGO団体「The Faith & Belief Forum」でのアクティビティの様子

- ・ 地方公共団体職員(都道府県・市区町村)
- ・ 地域国際化協会職員
- ・ 地方公共団体や地域国際化協会の推薦を受けたNPO等民間団体・国際機関の職員等、又は市区町村国際交流協会の職員

※通訳者が同行するため、英語の能力は問いません。

## 対象者

## 参加費用

- ・ 研修参加費は無料ですが、以下の費用はご負担ください。  
旅費（航空賃・交通費等）、宿泊費、食費、入国に必要な書類等の取得料等
- ※地域国際化協会からの参加者（個人での参加を除く。）については、地域国際化協会連絡協議会から一部の費用について助成あり。



ヘイトクライム対策に積極的に取り組む、ウォルサム・フォレスト区役所の視察の様子

## 視察先／視察内容（例）

※視察先の都合等により、変更になる場合があります。

- 移民集住自治体等の行政機関
  - －移民・難民の多様性に配慮した共生戦略の展開例
- NGO等の支援団体
  - －異なる文化・宗教を持つ子どもたちの学校間交流の取組み
- 大学・移民関連研究機関、博物館
  - －多文化共生に向けた都市間ネットワークの形成・取組み
  - －地域コミュニティに対する移民への理解促進に向けた取組み

ロンドン・ルイシャム区  
「移民博物館」の視察の様子



## R4視察時の参加者の声

コミュニティの声に耳を傾け、自治体から積極的に手を差し伸べる姿勢、ニーズ・現状把握のための情報収集の取組みが印象に残った。こうしたアプローチが、良好な関係機関の連携構築につながり、コミュニティニーズを反映した継続的な施策展開を可能にすると感じた。



詳細は、クリアのホームページ  
をご確認ください。

